

事業概要説明シート

事務事業番号 10203130018

事務事業名	道路管理事業		類似事業グループ	3.施設維持管理(指定管理除く)
事業期間	平成16年度 ~	担当部署	土木部道路管理課	
総合計画体系	(施策目標) 交通の流れを円滑にする			
公約		行政改革実施プラン	質疑意見等	(市議会) (監査委員)

根拠法令	道路法
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:) <input type="checkbox"/> その他()
目的(何のために)	道路管理者である市が、道路網の整備を図るため道路に関して、路線の認定、管理、構造、保全等に関する管理事務を円滑に遂行することを目的とする。
対象(誰・何を対象に)	市民
事業内容	規制を行うための路線認定行為 道路機能確保のための施設点検作業(橋梁、トンネル、標識) 道路の管理瑕疵による賠償 第三者による道路施設の損傷行為について現状復旧のための原因者に対する指導
目的が同種の事業(国・府・市・民間)	国・府(橋梁・トンネル点検事業)
事業の必要性	市内道路の安全を確保

コスト												
	H25年度決算				H26年度決算				H27年度当初予算			
	従事職員数		概算人件費		従事職員数		概算人件費		従事職員数		概算人件費	
正職員	5.06	人	40,004	千円	3.63	人	28,815	千円	3.63	人	28,869	千円
再任用職員		人	0	千円	1.80	人	6,973	千円	1.80	人	7,454	千円
非常勤職員等		人		千円		人		千円		人		千円
人件費計(A)			40,004	千円			35,788	千円			36,323	千円
直接経費(B)			5,341	千円			1,514	千円			2,110	千円
総事業費(A+B)			45,345	千円			37,302	千円			38,433	千円

財源内訳												
	H25年度決算				H26年度決算				H27年度当初予算			
国庫支出金				千円				千円				千円
府支出金				千円				千円				千円
受益者負担(使用料等)				千円				千円				千円
その他				千円				千円				千円
一般財源			45,345	千円			37,302	千円			38,433	千円

平成26年度 事業費の主な内訳 (人件費除く)	内 容		金 額
	道路事故賠償責任保険料		1,468,360 円
	道路事故賠償金		44,609 円

事業概要説明シート

事務事業番号 10203130018

事務事業名	道路管理事業		類似事業グループ	3.施設維持管理(指定管理除く)
事業開始年度	平成16年度	～	担当部署	土木部道路管理課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H25年度	H26年度	H27年度(見込み)
活動実績	① 道路舗装率	%	96.7	96.9	100.0
	② 道路管理瑕疵に基づく賠償	件	1	2	5
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 道路管理瑕疵に基づく賠償	円/件	7,465	22,305	420,000
	②				
	③				
目標とする成果 (費用対効果含む)	道路機能を十分果たすために舗装率を上げる。また、道路損傷を無くし、道路管理瑕疵による賠償件数を減らす。				
成果目標 達成状況	舗装率が年々アップしている。			目標達成度	概ね目標どおり
比較参考値 (他自治体とのコスト比較、サービス水準比較)	道路の舗装率はほぼ100%に近く、サービス水準が高い。				
事業のPR	広報、ホームページによる市民・事業者からの道路損傷の通報呼びかけ。				
市民満足度	道路舗装率が高く、快適な道路環境が保たれている。また、日々の道路施設の点検・パトロールと合わせ、広く市民・事業者からの通報を受け、迅速な施設損傷の対応を行うことにより、道路管理瑕疵の発生件数を低く留めていることも踏まえ、市民満足度は高いものと認識している。				
特記事項	本市が管理する道路または道路施設における瑕疵等により、第三者への傷害、またはその財物の損壊が発生した場合、国家賠償法等に基づき賠償責任を負う。				

一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方針	現状のまま継続	道路機能を確保するために、継続して路線認定行為、道路施設点検等の事務執行を行う
一次評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業の重要性を市民に発信する力が弱いように感じる。 ・今後の方向性が「現状のまま継続」とのことだが、成果指標の設定も含め、事業内容の詳細な検証が必要と思われる。 	
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方針		

事業概要説明シート

事務事業番号 10203140016

事務事業名	道路橋梁事務管理事務		類似事業グループ	3.施設維持管理(指定管理除く)
事業期間	平成16年度 ~	担当部署	土木部道路管理課	
総合計画体系	(施策目標) 安心して歩けるまちをつくる			
公約	行政改革実施プラン	質疑意見等	(市議会)	(監査委員)

根拠法令	道路法
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:) <input checked="" type="checkbox"/> その他(一部委託)
目的(何のために)	道路管理者である市が、道路財産(橋梁等の道路施設)を主とする管理事務を円滑に遂行するため
対象(誰・何を対象に)	市民
事業内容	道路法に基づく道路台帳の整備及び道路財産(橋梁等の道路施設)保管 市が管理する道路と隣接する土地の境界確定 私道の寄付採納基準(舗装されていることなど)に基づく寄付による公道化
目的が同種の事業(国・府・市・民間)	国・府(道路台帳整備)
事業の必要性	道路法により定められてものであり、管理事業として必要

コスト												
	H25年度決算				H26年度決算				H27年度当初予算			
	従事職員数		概算人件費		従事職員数		概算人件費		従事職員数		概算人件費	
正職員	4.58	人	36,209	千円	4.58	人	36,356	千円	5.43	人	43,185	千円
再任用職員	1.00	人	3,231	千円	0.20	人	775	千円	0.20	人	828	千円
非常勤職員等		人		千円		人		千円		人		千円
人件費計(A)			39,440	千円			37,131	千円			44,013	千円
直接経費(B)			18,317	千円			18,237	千円			26,176	千円
総事業費(A+B)			57,757	千円			55,368	千円			70,189	千円

財源内訳												
	H25年度決算				H26年度決算				H27年度当初予算			
国庫支出金				千円				千円				千円
府支出金				千円				千円				千円
受益者負担(使用料等)				千円				千円				千円
その他				千円				千円				千円
一般財源			57,757	千円			55,368	千円			70,189	千円

平成26年度事業費の主な内訳(人件費除く)	内 容		金 額
	道路台帳補正委託料		16,689,000 円
	不法投棄物処理委託料		846,720 円

事業概要説明シート

事務事業番号 10203140016

事務事業名	道路橋梁事務管理事務		類似事業グループ	3.施設維持管理(指定管理除く)
事業開始年度	平成16年度 ~	担当部署	土木部道路管理課	

	活動指標もしくは成果指標	単位	H25年度	H26年度	H27年度(見込み)
活動実績	① 道路整備路線延長	m	19,231	27,036	28,000
	② 道路用地の寄附収受件数	件	15	14	15
	③ 不法投棄物処理件数(放置自転車・バイク、不法投棄物)	件	237	260	250
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 道路台帳補正委託料÷(新規認定+区域変更)路線数	円/路線	58,183	59,372	75,983
	② 不法投棄物(放置自転車・バイク、不法投棄物)処分費÷処理件数	円/件	3,473	3,257	5,920
	③				
目標とする成果 (費用対効果含む)	道路の新規認定路線および区域変更路線件数				
成果目標 達成状況	新規認定路線および区域変更路線を予定通り進んでいる。			目標達成度	目標を上回る
比較参考値 (他自治体とのコスト比較、サービス水準比較)	他市と比較に意味をなさない。(道路整備率や各種条件が違うため)				
事業のPR	特になし				
市民満足度	民有地と道路の境界確定や不法投棄物の処分など、適正な処理していることなどを踏まえ、市民満足度は高いものと認識している。				
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 本市の道路整備事業により築造された道路や、国・府からの移管、開発行為等による帰属、または一般寄附等を受けた道路について、道路法第8条(路線の認定)の規定に基づき市道として路線認定するための事務手続きを行う。 個人所有道路の寄附の申し出については、枚方市基準に基づき、市内道路網整備として必要なものについて照査したうえ、寄附収受を行い道路行政の円滑化を図るとともに、私道を公道化することによる生活環境の整備を目的とする。 本市が管理する道路上に不法に投棄されたゴミ等について、地域要望や町的美観向上を図るためまた安全に通行できるよう撤去処理している。 				

一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	現状のまま継続	継続して土地の境界確定、寄附を受ける等により道路台帳の整備、効率的な事務の執行を行う
----------------------------------	---------	--

一次評価結果	・行政システムの基本であることを積極的に市民に発信し、事務の効率化を図る。
--------	---------------------------------------

二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	
----------------------------------	--

事業概要説明シート

事務事業番号 10201090008

事務事業名	道路アダプト事業		類似事業グループ	18.啓発
事業期間	平成16年度 ~	担当部署	土木部道路管理課	
総合計画体系	(施策目標) 美しいまち並みをつくる			
公約	行政改革実施プラン	質疑意見等	(市議会)	(監査委員)

根拠法令	アダプトプログラム制度実施決裁
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:) <input type="checkbox"/> その他()
目的(何のために)	公共空間である駅周辺や住宅街の市の管理する道路を市民が道路の里親となり管理を行い、市民や事業者と市がパートナーシップを組み街の美観を守る制度の推進
対象(誰・何を対象に)	自治会、コミュニティ、事業者、各地域団体等
事業内容	枚方市道の清掃活動及び植栽の維持管理、支障箇所の通報活動を地域が行い、市が清掃道具の貸与や廃棄物の処理を行う活動の推進
目的が同種の事業(国・府・市・民間)	大阪府(アダプト事業)
事業の必要性	街の美観を守る制度である

コスト										
		H25年度決算			H26年度決算			H27年度当初予算		
		従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	
正職員		0.29人	2,293千円	0.29人	2,302千円	0.29人	2,306千円			
再任用職員			0千円		0千円		0千円			
非常勤職員等										
人件費計(A)			2,293千円		2,302千円		2,306千円			
直接経費(B)			294千円		210千円		410千円			
総事業費(A+B)			2,587千円		2,512千円		2,716千円			

財源内訳										
		H25年度決算			H26年度決算			H27年度当初予算		
国庫支出金			千円		千円		千円		千円	
府支出金			千円		千円		千円		千円	
受益者負担(使用料等)			千円		千円		千円		千円	
その他			千円		千円		千円		千円	
一般財源			2,587千円		2,512千円		2,716千円			

平成26年度事業費の主な内訳(人件費除く)	内 容	金 額
	道路アダプト事業経費(花苗代)	209,942 円

事業概要説明シート

事務事業番号 10201090008

事務事業名	道路アダプト事業	類似事業グループ	18.啓発
事業開始年度	平成16年度 ~	担当部署	土木部道路管理課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H25年度	H26年度	H27年度(見込み)
活動実績	① アダプト活動取組箇所数	箇所	14	14	15
	② アダプト活動取組団体数	団体	14	14	15
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① アダプト活動取組箇所数	円/箇所	20,829	14,996	26,667
	②				
	③				
目標とする成果 (費用対効果含む)	公共空間である駅周辺の道路、住宅街の道路を地域のボランティア(市民等)とのパートナーシップによる「枚方市アダプトプログラム」を広く広報し、アダプト路線を拡充する				
成果目標 達成状況	高齢化等による団体の減少と新規申請団体のバランスが保たれており、団体数は現状を推移している			目標達成度	概ね目標どおり
比較参考値 (他自治体とのコスト比較、サービス水準比較)	清掃活動及び植栽の維持管理等地域が行い、市が清掃道具の貸与など活動を推進することから、各アダプト地区の広さ、清掃頻度など地域主体であるため比較するものではない。				
事業のPR	年1回の広報、ホームページへ掲載。				
市民満足度	アダプト路線の拡充により、きれいな街並みとなり市民満足度が高い。				
特記事項	公共空間である駅周辺の道路、住宅街の道路を地域のボランティア(市民等)とのパートナーシップによる「枚方市アダプトプログラム」を実施する。				

一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	現状のまま継続	市民に広報して参加を促す
一次評価結果	・アダプト制度を市民目線で再考しては。	
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策		

事業概要説明シート

事務事業番号 10101010007

事務事業名	道路施設維持管理事業		類似事業グループ	3.施設維持管理(指定管理除く)
事業期間	～	担当部署	土木部道路補修課	
総合計画体系	(施策目標) 安心して歩けるまちをつくる			
公約	○	行政改革実施プラン	質疑意見等	(市議会) ○ (監査委員)

根拠法令	社会資本整備重点計画法
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:) <input type="checkbox"/> その他()
目的(何のために)	道路施設等を維持補修することにより、道路利用者に対し、安全で快適な通行を確保すること
対象(誰・何を対象に)	道路利用者
事業内容	職員の道路パトロールや道路利用者からの道路補修依頼による補修箇所や自治会等からの要望による補修箇所の把握及び工事 橋梁長寿命化修繕業務 市内駅前広場を含む清掃等の委託事務 道路照明灯の維持修繕業務 市内各所に設置されているエレベーター施設の法定点検や監視業務 等
目的が同種の事業(国・府・市・民間)	道路施設維持管理事業
事業の必要性	道路法により、管理者が行うこと

コスト										
		H25年度決算			H26年度決算			H27年度当初予算		
		従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	
正職員	14.67人	115,981千円	14.09人	111,846千円	24.00人	190,872千円				
再任用職員	1.00人	3,231千円	1.00人	3,874千円	2.00人	8,282千円				
非常勤職員等		千円	0.49人	807千円		千円				
人件費計(A)		119,212千円		116,527千円		199,154千円				
直接経費(B)		437,785千円		488,126千円		389,005千円				
総事業費(A+B)		556,997千円		604,653千円		588,159千円				

財源内訳							
		H25年度決算		H26年度決算		H27年度当初予算	
国庫支出金		千円		千円		千円	
府支出金		千円		千円		千円	
受益者負担(使用料等)		千円		千円		千円	
その他		千円		千円		千円	
一般財源		556,997千円		604,653千円		588,159千円	

平成26年度事業費の主な内訳(人件費除く)	内 容		金 額
	委託料及び工事請負費、修繕料		436,426,401 円
	原材料、使用量及び賃借料、消耗品費、機械費、燃料費		51,699,250 円

事業概要説明シート

事務事業番号 10101010007

事務事業名	道路施設維持管理事業	類似事業グループ	3.施設維持管理(指定管理除く)
事業開始年度	～	担当部署	土木部道路補修課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H25年度	H26年度	H27年度(見込み)
活動実績	① パトロールや道路利用者等要望に係る補修数	件	3,926	3,975	4,000
	②				
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 総事業費/要望処理件数	円	141,874	152,114	147,040
	②				
	③				
目標とする成果 (費用対効果含む)	職員による道路パトロール及び市民等からの通報・要望箇所による道路等補修を迅速な対応により安全で快適な道路環境の維持。 市民要望内容が年々増加し多様化するなか直営作業により随時危険回避処置を図る。 単位当たりのコストは年々増加傾向にあるが、道路パトロールの強化と合わせ郵便事業者等へも道路補修箇所通報等のお願いをし、補修箇所の早期発見へとつなげ予防保全することで補修費用の軽減を図る。				
成果目標 達成状況	整備された道路施設の劣化・損傷を早期に発見し迅速な補修を行うことにより、安全で快適な道路環境の維持・継続を図った。			目標達成度	概ね目標どおり
比較参考値 (他自治体とのコスト比較、サービス水準比較)	府や近隣市などでは、単価契約による迅速な対応や手続きを行っている。 枚方市では、直営班や小規模修繕を駆使し対応している。				
事業のPR	HPや広報誌などによる道路の穴ボコや道路施設の損傷の通報受付の啓発及び道路パトロールによる安全安心の確保を図っている。				
市民満足度	通報・要望に対して迅速に対応し、早急な補修を行い、安全で快適な道路環境の維持を継続的に保つことが市民満足に繋がっている。				
特記事項	危険回避の仮復旧対応から本復旧までには相当時間を要している。				

一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	現状のまま継続	道路施設の維持管理については委託業務の拡大に努める。 道路施設等の予防・保全では、日常の施設管理のほか、道路施設損傷箇所の早期発見のため毎月道路パトロール強化日を設け実施する。 また、現場作業時の近隣への声かけの際には、新たな損傷箇所の通報のお願いを行い、夜間等の通報への迅速な対応を図るため休日等の出勤体制の強化を図る。
一次評価結果	・所管課の対応について、誠意・工夫が感じられる一方、年々、増加傾向にある市民の要望を減らす工夫や手法を検証しないと、本事業のコストはいっこうに縮小しない。発想の転換が必要では。	
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策		

事業概要説明シート

事務事業番号 10103070008

事務事業名	公園アダプト制度推進事務		類似事業グループ	18.啓発
事業期間	平成17年度 ~	担当部署	土木部公園課	
総合計画体系	(施策目標) 人と自然との共生を図る			
公約	行政改革実施プラン	質疑意見等	(市議会)	(監査委員)

根拠法令	決裁 (公園、緑地等のアダプトプログラム実施要領)
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:)
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(共同執行)
目的(何のために)	地域の共有財産である公園や緑地をより快適な憩いの場として地域に根ざした特色ある公園づくりを目的に、市民との協働により清掃等の美化活動を行い、公園利用者の活性化と魅力あるまちづくりを推進する。
対象(誰・何を対象に)	ボランティア活動を行う団体(5名以上)に対して、市が管理している公園、緑地の清掃や花壇等の維持管理を対象とする。
事業内容	公園アダプト制度の登録団体に公園や緑地の清掃や除草、花の管理など環境美化活動を行ってもらい、市は活動に必要なゴミ袋や清掃用具を貸与し発生したゴミ等の廃棄物の収集および処理を行う。また、支援活動の一環として、年2回、6月と12月にみどりの講習会「園芸講座」を開催する。
目的が同種の事業(国・府・市・民間)	河川、道路、駅前広場等を対象としたアダプトプログラム
事業の必要性	市民との協働により、公園・緑地等の維持管理の充実と地域環境の美化意識の向上が図れる事業である。

コスト	H25年度決算		H26年度決算		H27年度当初予算	
	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費
正職員	0.45 人	3,558 千円	0.81 人	6,430 千円	0.80 人	6,362 千円
再任用職員	0.20 人	646 千円	人	0 千円	人	0 千円
非常勤職員等	人	千円	人	千円	人	千円
人件費計(A)	4,204 千円		6,430 千円		6,362 千円	
直接経費(B)	596 千円		289 千円		200 千円	
総事業費(A+B)	4,800 千円		6,719 千円		6,562 千円	

財源内訳	H25年度決算		H26年度決算		H27年度当初予算	
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
国庫支出金						
府支出金						
受益者負担(使用料等)						
その他						
一般財源	4,800 千円		6,719 千円		6,562 千円	

平成26年度事業費の主な内訳(人件費除く)	内 容	金 額
	支援活動として開催した6月と12月の「みどりの講習会」の経費(報奨金・原材料費)	155 千円
	アダプト団体へ貸与した清掃道具等(消耗品)	134 千円

事業概要説明シート

事務事業番号 10103070008

事務事業名	公園アダプト制度推進事務	類似事業グループ	18.啓発
事業開始年度	平成17年度 ~	担当部署	土木部公園課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H25年度	H26年度	H27年度(見込み)
活動実績	① 公園アダプト団体登録数	団体	141	155	159
	②				
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 総事業費÷公園アダプト団体数	円	34,042	43,348	41,270
	②				
	③				
目標とする成果 (費用対効果含む)	地域に根ざした特色ある公園づくりに係る活動を自発的に行う事業として実施しているが、公園アダプト団体が増えることで実質的な公園緑地の維持管理に係る経費の削減や市民満足度のアップにつながる。また、26年度の単位あたりコストについては、機構改革に伴う従事職員の事務配分により増加したものの、年々微少する傾向になる。				
成果目標達成状況	公園アダプト団体登録数は毎年4団体の増加を目標としている。平成26年度は、目標の145団体に比べ10団体の増加となった。			目標達成度	目標を上回る
比較参考値 (他自治体とのコスト比較、サービス水準比較)					
事業のPR	ホームページや広報紙に掲示するとともに、募集ビラを窓口に置き公園アダプト団体への登録を募っている。また、活動区域で設置しているアダプトサイン(看板)により、事業PRに努めている。				
市民満足度	施策評価シートの施策43「市民参加のまちづくりを進める」の意識調査において、まちの美化活動などの取り組みの充実に対する満足度が上がった結果となっている。(平成26年度の調査結果は未)				
特記事項	登録団体は増加している反面、高齢化のため登録を解除される団体も増える傾向にある。				

一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方針	現状のまま継続	引き続き公園アダプト制度の登録団体へ支援を行っていく。
一次評価結果	・一次点検の方向性に異論なし。	
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方針		

事業概要説明シート

事務事業番号 10203140001

事務事業名	交通安全施設整備事業(交通対策課)	類似事業グループ	3.施設維持管理(指定管理除く)
事業期間	～	担当部署	土木部交通対策課
総合計画体系	(施策目標) 14:安心して歩けるまちをつくる		
公約	行政改革実施プラン	質疑意見等	(市議会) ○ (監査委員)

根拠法令	交通安全施設等整備事業の推進に関する法律、交通安全対策特別交付金等に関する政令
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者: 民間企業) <input type="checkbox"/> その他()
目的(何のために)	地域の道路交通環境を改善し交通事故の削減を図る。
対象(誰・何を対象に)	市域の市道
事業内容	地元の要望等により、地域の交通環境の実態を調査し、地元の意向を踏まえて適切な交通安全対策を立案する。 立案した交通安全対策に基づき、道路反射鏡や歩道柵などの交通安全施設の新設を行うとともに区画線の新設、更新を行う。
目的が同種の事業(国・府・市・民間)	
事業の必要性	沿道の土地利用の進展等により、道路における交通環境は絶えず変化しており、これらの変化に即応した交通安全施設の整備を行うことで道路交通環境の改善を行う必要がある。

コスト	H25年度決算		H26年度決算		H27年度当初予算	
	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費
正職員	1.61人	12,729千円	1.70人	13,495千円	1.7人	13,520千円
再任用職員	1.00人	3,231千円	1.00人	3,874千円	1.0人	4,141千円
非常勤職員等						
人件費計(A)		15,960千円		17,369千円		17,661千円
直接経費(B)		40,288千円		32,463千円		40,000千円
総事業費(A+B)		56,248千円		49,832千円		57,661千円

財源内訳	H25年度決算		H26年度決算		H27年度当初予算	
	金額	千円	金額	千円	金額	千円
国庫支出金	38,442	千円	27,200	千円	40,000	千円
府支出金		千円		千円		千円
受益者負担(使用料等)		千円		千円		千円
その他		千円		千円		千円
一般財源	17,806	千円	22,632	千円	17,661	千円

平成26年度事業費の主な内訳(人件費除く)	内 容	金 額
	交通安全施設(道路反射鏡、安全柵、車線分離標、歩道改良、道路縁石鋸、道路照明等)の新設及び区画線の新設・更新	27,200千円

事業概要説明シート

事務事業番号 10203140001

事務事業名	交通安全施設整備事業(交通対策課)	類似事業グループ	3.施設維持管理(指定管理除く)
事業開始年度	～	担当部署	土木部交通対策課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H25年度	H26年度	H27年度(見込み)
活動実績	① 市内交通事故発生件数	件	1,888	1,681	1,680
	② 地元要望を受け事業を実施した件数	件	267	177	220
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	①				
	②				
	③				
目標とする成果 (費用対効果含む)	地域の道路交通環境の改善を進め、交通事故の抑制を図る。				
成果目標 達成状況	枚方市内の交通事故は、発生件数、死者数及び負傷者数の全てにおいて減少している。死者数においては平成21年度より10人を下回り、平成26年度は3人となった。			目標達成度	概ね目標どおり
比較参考値 (他自治体とのコスト比較、サービス水準比較)					
事業のPR	交通安全施設の整備の積み重ねにより地域の交通環境の改善を進め、交通事故減少に貢献しているものと考えている。				
市民満足度	交通安全施設設置後、苦情や追加施工の要望については極めて少なく、市民に満足いただいていると考えている。				
特記事項					

一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方針	現状のまま継続	引き続き、地元要望や地域の交通環境の実態を踏まえながら、効果的かつ効率的に整備を進める。
一次評価結果	・一次点検の方向性に異論なし。	
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方針		

事業概要説明シート

事務事業番号 10203140013

事務事業名	交通安全啓発事業		類似事業グループ	18.啓発
事業期間	～	担当部署	土木部交通対策課	
総合計画体系	(施策目標) 14:安心して歩けるまちをつくる			
公約	行政改革実施プラン	質疑意見等	(市議会) ○ (監査委員)	

根拠法令 決裁(平成27年度「交通安全教室」の実施について、ほか)

実施方法 直営 委託(委託先:民間企業に一部、各種大会の吊看板、音響調整等委託)
その他()

目的(何のために) 交通安全のための各種交通安全啓発活動を行うことで、交通ルールの徹底やマナーの向上を図り、交通事故を減少させて、市民が安心して日常生活を送ることができることを目的とする。

対象(誰・何を対象に) 広く市民を対象

事業内容 交通事故を1件でも減らすため、以下の交通安全啓発活動等を行う。
 ・春、秋の 全国交通安全運動(啓発パレード、駅前キャンペーン、自転車マナーアップキャンペーン)
 ・交通安全市民大会(市民)・枚方市クラブ交通安全大会(幼稚園)
 ・子どもの交通安全教室(保育所・幼稚園・小学校)
 ・交通安全運転講習会(市民) ・高齢者自転車教室

目的が同種の事業(国・府・市・民間) ・交通安全施設整備事業
 ・交通対策協議会補助事務事業
 ・枚方交野交通安全協会補助金交付事業

事業の必要性 ・各種交通安全啓発活動をすることで、市民に交通安全思想の普及、浸透を図り、交通事故を減少させ、安全な交通社会を実現するため、また、交通安全教室等を実施して、交通ルール、交通マナーを身につけ、幼稚園、保育所(園)や小学生の交通事故防止を図るため、事業を継続する必要がある。

コスト		H25年度決算		H26年度決算		H27年度当初予算	
		従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費
正職員	1.90 人	15,021 千円	1.15 人	9,129 千円	1.91 人	15,190 千円	
再任用職員	0.10 人	323 千円	0.10 人	387 千円	0.0 人	0 千円	
非常勤職員等	0.35 人	597 千円	0.34 人	616 千円	人	千円	
人件費計(A)		15,942 千円		10,132 千円		15,190 千円	
直接経費(B)		881 千円		194 千円		1,095 千円	
総事業費(A+B)		16,823 千円		10,326 千円		16,285 千円	

財源内訳		H25年度決算		H26年度決算		H27年度当初予算	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
国庫支出金							
府支出金							
受益者負担(使用料等)							
その他							
一般財源		16,823 千円	10,326 千円	16,285 千円			

平成26年度事業費の主な内訳(人件費除く)	内 容	金 額
	消耗品	83 千円
	委託料	111 千円

事業概要説明シート

事務事業番号 10203140013

事務事業名	交通安全啓発事業	類似事業グループ	18.啓発
事業開始年度	～	担当部署	土木部交通対策課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H25年度	H26年度	H27年度(見込み)
活動実績	① 交通安全教室実施回数	回	121	126	125
	② 交通安全教室参加者数	人	17,733	16,549	16,500
	③ 交通事故発生件数	件	1,888	1,681	1,680
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 総事業費÷交通安全教室実施回数	円	139,033	81,952	130,280
	② 総事業費÷交通安全教室参加者数	円	949	624	958
	③				
目標とする成果 (費用対効果含む)	継続的な交通安全啓発活動により、より多くの市民が正しい交通ルールやマナーを身につけ、交通事故を減少させる。				
成果目標 達成状況	枚方市内の交通事故は、発生件数、死者数及び負傷者数の全てにおいて減少している。死者数においては平成21年度より10人を下回り、平成26年度は3人となった。			目標達成度	概ね目標どおり
比較参考値 (他自治体とのコスト比較、サービス水準比較)	大阪府は大阪府交通安全協会に「交通安全教育指導員派遣事業」として、業務委託をしている。また、他市では非常勤職員と警察で安全教室を行っているところもあり、安全教室の回数、教材費等の個数によりコストを決定している。				
事業のPR	各種運動、大会、講習会等周知については市のホームページ、広報等で、また、ポスター、リーフレット等については校区コミュニティ、地元自治会等、地域団体に配布して広く啓発を行っている。				
市民満足度	平成25年度の市民意識調査、「安心して歩けるまちをつくる」の結果では、重要度77.0%、満足度54.2%と、重要度と満足度に乖離がみられた。				
特記事項	自転車利用者のルール違反やマナー違反が原因となる重大事故が多発しており、大きな社会問題となっているなか、改正道路交通法が施行され、自転車をめぐる環境は大きく変化している。自転車利用者に対する安全教育の声が多く、特にスタントマンによる交通事故のリアルな再現を行う、スケアード・ストレート等の要望があがっている。				

一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	改善	交通安全啓発事業のうち、子どもの交通安全教室において、まず小学生を対象にした交通安全教室(自転車)について委託等を検討する。
一次評価結果	・所管課の選定理由に同じ。	
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策		